

I. CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業



1. 主な活動実績

今年度、エンパワメントかながわが神奈川県内の子どもとおとなに届けた CAP ワークショップは、113 回となった。

①寄付によって CAP プログラムを提供する仕組みづくりとして、「1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン」事業を引き続き行った。

・2021 年度は県内の小学校で、7 校 17 クラスの小学生 458 人の子どもに CAP を提供した。

2014 年 9 月に開始した本キャンペーンでの受講者総数は、9,356 人となった。

②川崎市内での中学生向け暴力防止プログラムについて、2 月 20 日に 7 度目となる「いのちキャンペーン」として、川崎市総合自治会館からオンラインで開催した。当日は、CAP プログラムの紹介の他、かわさき市民しきん「いしずえ」助成事業として実施したデート DV 予防プログラムの紹介も行い、CAP もデート DV 予防プログラムも権利教育として実施していることを説明した。

「いのちキャンペーン」として川崎市内中学校 1 校にて、教職員向けおよび生徒向け 3 クラスを実施した。

③行政委託事業として、川崎市から委託を受け小学校 11 校 43 クラス、中学校 2 校 9 クラスで実施した。

2. 年間ワークショップ数

113 回を実施。(計画は 125 回)

		計画	実績
1 万人の子どもに CAP を届けるキャンペーン	子ども向け(小学生)	30	17
	おとな向け	10	6
川崎市教育委員会	子ども向け(小学生)	42	43
	子ども向け(中学生)	9	9
	おとな向け	15	12
母校に CAP を贈ろうプロジェクト	子ども向け(小学生)	4	4
	おとな向け	2	2
その他	子ども向け(小学生)	4	12
	子ども向け(中学生)	2	3
	子ども向け(就学前)	3	3
	おとな向け(保護者・教職員)	4	2
	合計	125	113

3. 行政委託事業

川崎市教育委員会事業 小学校 11 校 43 クラス 中学校 2 校 9 クラス

4. 「1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン」

概要: 支援者からの寄付1万円で交通費等の経費を賄い、1クラス(40人まで)の子どもたちとその学校の保護者や教職員に提供する。受講した子どもが1万人に達した時点で終了する。(2014年9月開始)

対象: 神奈川県内の小学校

クラスごとに子ども向けCAPプログラムを提供する。(1学年のクラス数まで応募可能)

実施条件: 子ども向けCAPプログラムの他に、おとな向け(保護者または教職員向け)を実施する。

受講した子どもの感想を寄付者に贈ることに協力いただく。

実施校名・受講者数等をエンパワメントかながわのHP等で公表する。

実績: 2021年度は、以下の7校17クラスで実施。

本キャンペーン開始からこれまでに9356人の小学生が受講した。

6月21日横浜市立西寺尾小学校4年生、6月12日おとな向け

7月6日茅ヶ崎市汐見台小学校6年生3クラス、12月11日おとな向け

7月2日横浜市立東品濃小学校5年生3クラス、おとなキャンセル

12月10日平塚市立真土小学校4年生3クラス、8月27日おとな向け

11月29日横浜市立万騎が原小学校3年生2クラス、11月10日おとな向け

12月9日横浜市立芹が谷小学校3年生、同日おとな向け

2月9日横浜市立藤塚小学校4年生2クラス、おとなキャンセル

決算: 今年度にCAPキャンペーンに集まった寄付額は、52,127円。前年度期首残高814,319円と合わせて866,446円。今期230,000円を使用し、636,446円を翌期に使用することとする。

2014年9月以降2022年3月末までの総寄付額は4,870,396円となった。

5. 主催イベント

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
2月20日(日) 19時~20時半	子どもへの権利教育を!この川崎からすべての子どもへ~CAPプログラムとデートDV予防プログラムの取組報告会	川崎市総合自治会館からオンライン	25人

II. デートDV予防・啓発事業



1. 主な活動実績

- ① 赤い羽根福祉基金から助成を受け、リモート相談員養成講座においては14名が修了し、9名が登録した。引き続きデートDV110番リモート相談事業を実施し、9月から相談日を週4日(火曜・水曜・木曜・土曜)に増設した。2022年3月より独自のチャット相談システムを導入し、LINE公式ビジネスより移行した。年間の相談件数は、電話426件、チャット(LINE)1343件、あわせて1769件となり、前年度より2倍以上に増えた。

- ② 男女共同参画センター横浜からの委託を受け、横浜市内中学校・高等学校に対し、17 回のワークショップを提供した。
- ③ ワークショップの提供においては、かながわ男女共同参画センター、川崎市人権・男女共同参画室、茅ヶ崎市、逗子市、長野県塩尻市、静岡県富士市等から委託を受けて中学校・高等学校・大学で実施した。
- ④ かわさき市民しきん「いしずえ」より助成を受け、川崎市内高校および特別支援学校でのワークショップを実施した。

2. 年間ワークショップ数および相談開設回数

86 回を実施。(計画は 82 回)

		計画	実績
男女共同参画センター横浜	中学生・高校生・教職員向け	19	17
かながわ男女共同参画センター	中学生・高校生・大学生向け	6	9
川崎市人権・男女共同参画室	中学生・大学生・教職員向け	9	9
かわさき市民しきん「いしずえ」	中学生向け	8	9
その他	中学生向け	4	5
	高校生向け	6	5
	大学生向け	10	12
	おとな向け(教職員・一般)	6	4
養成講座	電話相談員	12	12
リボン・プロジェクト	高校生向け	2	5
	合計	82	86

相談事業 161 回 開設(計画は 102 回)

デートDV110 番	デートDVについてなら誰でも	102	161
------------	----------------	-----	-----

3. 行政委託事業

①男女共同参画センター横浜「デートDV防止啓発」事業

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜)より委託を受け、横浜市内の中学 5 校、高校 4 校、特別支援学校 2 校、専門学校 1 校において生徒向けワークショップを実施した。

②神奈川県立かながわ男女共同参画センター「デートDV防止講座」事業

かながわ男女共同参画センターより委託を受け、県内の中学 4 校、高校 2 校、特別支援学校 3 校において、デートDV予防ワークショップを実施した。

③その他の行政委託事業

川崎市人権・男女共同参画室より委託を受け、中学 2 校、大学 3 校において、また教職員向け 1 回のデートDV 予防ワークショップを実施した。

茅ヶ崎市より委託を受け、中学 2 校においてワークショップを実施した。

逗子市より委託を受け、中学 2 校においてワークショップを実施した。

長野県塩尻市より委託を受け、高校 3 校においてワークショップを実施した。

静岡県富士市より委託を受け、中学 1 校においてワークショップを実施した。

④おとな向け講演会および研修事業

内閣府、葛飾区、男女共同参画センター横浜等から依頼を受け、オンラインシステムを活用した教職員向け等の研修を実施した。

4. 助成金事業

①赤い羽根福祉基金「DV や虐待の連鎖を断ち切るためのデート DV 相談体制構築事業」

DV や虐待の連鎖を断ち切るため、デート DV の被害者はもちろん、保護者や友人等周囲の人や加害に気づいた人が相談しやすい体制を構築する。オンラインによるリモート相談員養成講座(全 12 コマ)を開催し 14 名が修了し 9 名が登録した。また 9 月より相談日を増設し、週 4 日(火曜・水曜・木曜・土曜)に相談を受け付けたところ、相談件数を昨年度より 2 倍以上に増やすことができた。さらに、3 月 1 日より独自のチャット相談システムを導入した。

決算:

収入	助成金	7,530,000	支出	人件費	4,246,500	(相談員)
				委託費	695,000	(カルテ・コールセンター他)
	自己資金	73,310		その他人件費	1,348,500	
				所費	1,313,310	
	収入合計	7,603,310	円	支出合計	7,603,310	円

②かわさき市民しきん「いしずえ」助成金「川崎市内デート DV 予防啓発事業」

川崎市内でのデート DV 予防プログラムをさらに普及することを目的に、市内中学校 1 校生徒向け 2 回、特別支援学校 1 校教職員向け 1 回生徒向け 3 回、高校定時制 1 校教職員向け 1 回生徒向け 2 回のデート DV 予防プログラムを実施した。

決算:

収入	助成金	480,000	支出	人件費	376,000	
	自己資金	1,371		所費	111,371	
	収入合計	481,371	円	支出合計	481,371	円

Ⅲ. 各種人権啓発事業



1. 主な活動実績

①すきっぷ(子どもの護身法)プログラム

- ・横浜市西区より委託を受け、区内小学校 5 校 14 クラスで子ども向けプログラムを実施した。
- ・横浜市内の継続校 1 校での 1 年生にプログラムを実施した。
- ・逗子市主催で公開講座 1 回を開催した。

②特別支援学級に通う子どもへの暴力防止(ほっと)プログラム

- ・知的障がいのある子どもの入所施設で、小学生向けと中高生向けを実施した。中高生にはデート DV 防止をテーマに取り入れた。
- ・児童心理治療施設で、職員向け・小学生向け・中学生向け・高校生向けを実施した。中高生にはデート DV 防止をテーマに取り入れた。
- ・県内小学校の特別支援級で、2 グループに対し実施した。

③保育士研修等

- ・企業研修として、虐待予防のための保育士研修を実施した。

④各種人権啓発プログラム

- ・神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校 10 校 13 回の教職員向けの人権研修を実施した。
- ・教職員向け EK 版生命の安全教育実践セミナーを各学齢別に開発し、オンラインにて公開講座を 6 回実施した。
- ・大学生による中高生向け人権啓発ワークショップを開発し、オンラインにて公開講座を 12 回実施した。

⑤高校カフェ/相談員派遣

公益財団法人よこはまユース、多文化共生教育ネットワーク神奈川の委託を受け、横浜市立横浜総合高校と相模向陽館高校に相談員を派遣した。

⑥LINE 子どもしゃべり場

引き続き週 2 回、LINE 子どもしゃべり場を開催し、1180 件の相談を受け付けた。

2. 年間ワークショップ数および相談開設回数

103 回を実施。(計画は 74 回)

		計画	実績
すきっぷプログラム	子ども向け・おとな向け	11	18
ほっとプログラム	子ども向け	2	7
子育てがラクになるワークショップ	おとな向け	1	0
虐待予防の保育士研修	保育士	1	1
各種人権研修プログラム	教職員等・オンライン教職員向け・学生養成講座	39	45
講演会等	教職員・社員・一般等	8	20
大学生プロジェクト	子ども向けオンライン	12	12
	合計	74	103

相談事業 135 回を実施。(計画は 132 回)

高校カフェ・コーディネーター派遣	県内高校	30	33
LINE 子どもしゃべり場	18 歳までの子ども	102	102
	合計	132	135

3. 行政委託事業

①神奈川県教育委員会校内人権研修事業

神奈川県教育委員会から委託を受け、高校および特別支援学校の教職員向けの人権研修として参加体験型研修を10校13回実施した。

4. 助成金事業

①日本財団通常助成「子ども権利がわかる大学生の育成及び子どもの権利啓発」

1. 子どもの権利がわかる大学生の養成・・・当団体の子どもの権利啓活動、ボランティア、広報活動、相談対応等を大学生向けに伝える「子どもの権利がわかる大学生の養成講座(12時間)」を4回開催した。35名が受講し、OJTを経て23名が活動中。
2. 大学生による子どもの権利啓発・・・大学生がチームを作り、子どもの権利、いじめ、性暴力、アサーション、LGBTのテーマで、5つのワークショッププログラムを制作した。オンラインでワークショップ講座を12回開催し、95名が受講した。
3. LINEでの相談対応および効果検証・・・2021年4月から2022年3月まで(毎週月曜、金曜)計102回のLINE相談を行った。相談者人数279人、1180件の相談を受けた。相談のやり取りを群馬大学によるコンテキスト解析(自然言語解析)を行い、当団体のLINE相談の特徴、効果を分析した。
4. 教職員向けプログラムの開発および実施・・・「教員向けこれならできるEK版生命の安全教育」を就学前向け(基礎編、実践編、相談対応編)、小学校低、中学年向け(基礎編、実践編、相談対応編)、小学校高学年向け(基礎編、実践編、相談対応編)、中学生向け(基礎編、実践編、相談対応編)、高校生向け(基礎編、実践編、相談対応編)と、年齢別5つのプログラムを開発した。これらのプログラムによる実践セミナー(オンライン)を全15回開催し、234名が受講した。

収入	日本財団助成金収入	4,390,000	支出	業務委託費	3,271,800
	自己負担	1,208,732		その他	2,326,932
	収入合計	5,598,732		支出合計	5,598,732

IV. 人材育成事業

1. 主な活動実績

- ①デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修を主催4回、全てリモートにて実施した。
- ②デートDV予防プログラム実施者養成講座(中学生向け、高校生向け、大学生・教職員向け)をそれぞれ1回、リモートにて実施した。
- ③デートDV相談対応専門研修および研究コースをそれぞれ各2回、リモートにて実施した。

- ④2022年3月、これまでにデートDV相談対応専門研修研究コースを修了した者の中から22名を、デートDV専門相談員(通称:TOTS Team of Teen's Supporters)として認定した。
- ⑤デートDV専門相談員派遣モデル事業として、神奈川県および東京都内の高校・大学に23回の派遣を行った。
- ⑥デートDV専門相談員事例検討会を4回開催し、延べ40名が参加した。

2. 年間実施回数

38回を実施。(計画は38回)

		計画	実績
デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	6月20日・7月4日・8月29日・2月13日	8	8
デートDV予防プログラム実施者養成講座	中学生向け 8月1日・8日	4	4
	高校生向け 9月19日・20日・26日	6	6
	大学生・教職員向け 10月2日・3日	4	4
デートDV相談対応専門研修	連携・演習コース 7月11日・18日 9月5日・18日	8	8
	研究コース 11月14日・21日 1月16日・23日	8	8
	合計	38	38

相談事業 デートDV専門相談員派遣 23回

TOTS(デートDV専門相談員派遣)	高校・大学等	随時	23
--------------------	--------	----	----

3. 主催事業

日時	タイトル・内容	会場	参加人数
6月20日(日) 10時~17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	オンライン(ZOOM)	21人修了
7月4日(日) 10時~17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	オンライン(ZOOM)	8人修了
7月11日(土)・18日(土) 10時~17時	デートDV相談対応専門研修(ABCD)	オンライン(ZOOM)	5人修了
8月1日(日)・8日(日) 10時~17時	中学生向けデートDV予防プログラム 実施者養成講座	オンライン(ZOOM)	8人修了
8月29日(日) 10時~17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	オンライン(ZOOM)	14人修了
9月5日(土)・18日(土) 10時~17時	デートDV相談対応専門研修(ABCD)	オンライン(ZOOM)	2人修了

9月19日(日)・20日(祝)・ 26日(日) 10時～17時	高校生向けデートDV予防プログラム 実施者養成講座	オンライン(ZOOM)	9人修了
10月2日(土)・3日(日) 10時～17時	大学生向け・教職員向けデートDV予防 プログラム実施者養成講座	オンライン(ZOOM)	8人修了
11月14日(日)・21日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修 研究コース(EFG)	オンライン(ZOOM)	3人修了
1月16日(日)・23日(日) 10時～17時	デートDV相談対応専門研修 研究コース(EFG)	オンライン(ZOOM)	3人修了
2月13日(日) 10時～17時	デートDV対応スキルを学ぶ基礎研修	オンライン(ZOOM)	12人修了

V. 調査研究事業

1. 活動目的

コロナ禍で顕在化した問題は、日本の社会における力の不均衡であり、そこで起きているDVや虐待といった暴力と貧困である。当団体では、暴力の連鎖を断ち切るために、デートDV防止が切り札になると考え、方策を実施してきた。特にデートDVについて誰もがアクセスしやすい相談窓口が重要である。

年代を超えてニーズが明らかになったチャット相談を受けるための相談システムを独自に開発する。そこで得られたデータを活用し自然言語解析を行い、当団体が築いてきたエンパワメントの手法の有効性について検証する。エビデンスをもってエンパワメント・メソッドを確立すると同時に、本メソッドによって、大学生ボランティアの育成を行い、デートDVの当事者世代が相談を受ける体制を築いていく。

2. 助成金事業

①2021年度トヨタ財団国内助成プログラム「デートDVチャット相談システムから、学生と共に創る人と人が繋がる社会」エンパワメントで暴力と貧困の連鎖を断ち切るプロジェクト

2021年10月から3年間の助成が始まった。2021年度は第1期として、イデアリスタ(株)の協力を得て、独自チャット相談システムの開発を行い、2022年3月より導入を行うことができた。

決算:

収入	助成金	3,500,000	支出	委託費	3,405,000
	自己資金	0		人件費等	95,000
	収入合計	3,500,000	円	支出合計	3,500,000
					円

VI. 広報事業

1. SNS を活用した情報発信

- ・団体 HP と啓発サイトの最新ニュースを起点に SNS (Facebook ページ、Instagram、twitter) から情報の拡散を行った。
- ・講座やイベントの開催日まで SNS より複数回にわたる継続的な告知を行い、全国各地から参加者が集まった。

2. 集客のための WEB 広告配信

- ・Facebook 広告、Instagram 広告、また Google Ad Grants (Google for Nonprofits プログラムとして NPO 対象に Google 広告費を助成) により全国に向けて講座告知やプログラムの周知を行った。Google 広告は 2021 年度 \$35,497.45 (日本円換算約 400 万円) の助成を受けた。
- ・LINE 公式アカウント (LINE 子どもしゃべり場) の友だち追加広告 (4 回配信) により新規友だちが 543 人追加された。

3. SNS 以外での効果的な告知

- ・エンパワメントかながわ主催講座にユーザーがアクセスしやすくするため、団体 HP のコンテンツデザインをリニューアルした。メイン画像の下に「注目のプロジェクト」の 8 種類のバナーを設置した。
- ・月 1 回のメルマガを HP のニュースと連携させ、第 60 号～第 71 号を購読者へ配信した。

4. 啓発サイトの運営

- ・「デート DV110 番相談サイト」およびデート DV 予防啓発サイト「それってデート DV なんじゃない？」の最新ニュース欄にイベント告知等の情報を発信した。

＜アクセス数＞ページビューよりカウント

サイト	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
団体ホームページ	91,607 件	54,585 件	49,441 件	48,976 件	49,578 件
デート DV110 番相談サイト	27,415 件	25,217 件	25,976 件	30,301 件	24,021 件
それってデート DV なんじゃない	13,854 件	25,075 件	29,287 件	27,352 件	5,695 件

5. デート DV 予防啓発のためツール制作の依頼を受け作成

- ・相模原市より「デート DV 予防啓発カード」8,000 枚
- ・東京都中野区より「びいまいせるふ」1,300 部

6. メディア掲載

日刊紙、フリーペーパー、情報サイト等の各メディアからの取材、また、サイトの監修、執筆依頼を受け掲載された。

＜エンパワメントかながわの活動＞

- ・7 月 東京新聞 : デート DV 白書 VOL9 紹介
- ・8 月 タウンニュース: 活動 10 年目の報告書
- ・11 月 タウンニュース: 子どもの権利
- ・11 月 朝日新聞: 「別れたら死んじゃう」は愛じゃなくて暴力 デート DV 防止へ啓発

<取材協力/執筆>

- ・育友(専修大学育友会会報) 秋 167(季刊 2021.10)デートDVを考えるワークショップ開催
- ・エイデル研究所・金子:単行本『アイはあるの?』 デートDV110 番紹介

VII. リボン・プロジェクト



1. 趣旨

暴力のない社会を目指していくために、エンパワメントかながわが特に必要であると考えた子どもたちにワークショップを提供していく「リボン・プロジェクト」。趣旨に賛同してくださった方からの寄付金、会員の意思で捻出した資金等を活用する。団体HPに実施報告を掲載し、広く知らせる。

2. 実施報告

① 特別支援学校でのほっとデートDV予防プログラムの提供

特別支援学校の子どもたちに前半：暴力と人権を伝え、後半：デートDVをテーマとしてお互いを大切にしようコミュニケーションについて考えることができた。

日時：2021年10月7日

場所：神奈川県内特別支援学校

参加者：高校2年生12人、高校3年生13人

支出：25,266円

② 高校生へのデートDV予防プログラムの提供

デートDV予防プログラム（学年単位60分）を実施することにより、広く暴力について、人権とは何かについて知り、人と人とお互いに大切にしよう（尊重しよう）関係について考えることができた。

日時：2021年11月5日

場所：神奈川県内高等学校

参加者：高校1年生、高校2年生420人

支出：22,000円

③ 高校生（定時制）へのデートDV予防プログラムの提供

デートDV予防プログラム（50分×2回）を実施することにより、高校生一人ひとりに「あなたはとっても大切な人」であることを伝え、寸劇を通して、人と人とお互いに大切にしよう（尊重しよう）関係であるためにできることを考えることができた。

日時：2022年1月11日

場所：神奈川県内高等学校

参加者：高校2年生32名

支出：5,842円

④ 高校生へのデートDV予防プログラムの提供

人権を基礎として多様な考え方を外部講師が提供する「社会福祉基礎」授業の中で、クラス単位でのデートDV予防プログラム形式で実施した。日ごろ対面でのかわりが多い子どもたちだったが、デートDVをきっかけに話し合うことができた。

日時：2022年1月17日

場所：神奈川県内高等学校

参加者：高校1年生、高校2年生12人

支出：16,933円

⑤ 児童心理治療施設での暴力防止プログラムの提供

様々な理由で暴力に遭いやすい子どもたちに対して、安心できる生活、暴力から身を守るスキルを身に付けることを目指して実施。最初に、職員研修、小学生にほっとプログラム、中高生にほっとデートDV予防プログラムを行い自分の安心について一緒に考えることができた。

日時：職員研修2021年9月14日

小学生2021年10月19日、10月25日、11月1日

中学生2021年12月20日、12月23日

高校生2022年1月9日、1月15日

場所：神奈川県内児童心理治療施設

参加者：職員30人

小学生8人、中学生7人、高校生4人

支出：62,552円

⑥ 小学校特別支援学級の子どもたちへのほっとプログラム

特別支援学級に通う子どもたち向けに、障がいのある子どもへの暴力防止(ほっと)プログラムを提供した。自分の「あんしん」を増やし、繰り返し行っていくことで、「あんしん」がとられそうになったら「いやだ」と言っていことを伝えることができた。

日時：2022年1月17日、1月18日、2月3日

場所：神奈川県内小学校

参加者：特別支援学級の1年生から6年生の小学生21名 教職員4名(2クラスに分け実施)

支出16,070円

⑦ 母子生活支援施設でのほっとプログラムの提供

母親と一緒に入所している小学生低学年にほっとプログラムを提供した。自分の安心をあんしんボードにたくさん増やすことができた。

日時：2022年2月4日、7日、8日

場所：神奈川県内母子生活支援施設

参加者：小学校低学年7人(特別支援学級の子は4人)、職員2名

支出：23,367円

VIII. 組織運営

1. 2021 年度賛助会費は個人 59 口、団体 2 口、正会員 24 名となった。
2. 毎月事務局会議を開催した。
開催実績 4 月 9 日、5 月 6 日、6 月 8 日、7 月 1 日、8 月 5 日、9 月 7 日
10 月 5 日、11 月 23 日、12 月 16 日、1 月 14 日、2 月 4 日、3 月 8 日
3. ヴィジョンミーティングを開催した。
開催実績 7 月 21 日、8 月 18 日、9 月 22 日、10 月 28 日、11 月 30 日、1 月 7 日、3 月 15 日
4. 理事会開催実績
5 月 23 日 第 1 回理事会 各自宅より ZOOM にて
7 月 1 日 第 2 回理事会 各自宅より ZOOM にて
9 月 29 日 第 3 回理事会 各自宅より ZOOM にて
12 月 8 日 第 4 回理事会 各自宅より ZOOM にて
3 月 25 日 第 5 回理事会 各自宅より ZOOM にて
5. 学生インターン、ボランティアの受け入れ
専修大学よりインターンシップ 1 名の学生を受け入れた。8 月から 9 月:1 名
ドットジェイピーよりインターンシップ 4 名の学生を受け入れた。8 月から 9 月:3 名、2 月から 3 月:1 名
ボランティア 5 月:8 名、8 月:8 名、2 月:7 名、3 月:1 名 が登録した。
5. NPO 法人デート DV 防止全国ネットワークの事務局を担い、デート DV 防止スプリング・フォーラムの開催の準備等を行った。